



## ■ 第二種奨学金の貸与月額

(大学院以外)

貸与月額	20,000円	30,000円	40,000円	50,000円	60,000円
	70,000円	80,000円	90,000円	100,000円	110,000円
	120,000円				

私立大学の医・歯学課程及び薬学・獣医学課程の場合は、下記貸与月額への変更も可能

私立大学増額貸与 医・歯学課程	160,000円	貸与月額最高額 (120,000円) + 増額 (40,000円)
私立大学増額貸与 薬学・獣医学課程	140,000円	貸与月額最高額 (120,000円) + 増額 (20,000円)

(大学院)

貸与月額	50,000円	80,000円	100,000円	130,000円	150,000円
------	---------	---------	----------	----------	----------

法科大学院の場合は、下記貸与月額への変更も可能

法科大学院 増額貸与	190,000円	貸与月額最高額 (150,000円) + 増額 (40,000円)
	220,000円	貸与月額最高額 (150,000円) + 増額 (70,000円)

第二種奨学金貸与月額変更願(届)(増額)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与月額を下記のとおり増額することを願っています。返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与月額の増額に係る確認書並びに返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを

**記入例**

奨学生番号		学籍番号	ABCXXX	提出日※1	西暦 20 26 年 11 月 24 日		
8 2 X 0 4 X X X X X X				生年月日	西暦 2007 年 10 月 1 日 (満 19 歳)		
学校名	学生支援大学		学年	フリガナ	キョウ タロウ		
学部・学科 (課程・研究科)	経営学部		1 年	氏名 (自署)※2	機構 太郎		

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借入金額」を訂正する場合のみ必要です

変更後の借入金額 (予定・総額) ※3	3 1 5 0 0 0 0
------------------------	---------------

変更後の借入金額に訂正が生じたので、氏名横にも同一の印鑑を押印。

以下の手順で変更後の借入金額を訂正。  
 ①金額全体を二重線で抹消  
 ②二重線上に本人印及び連帯保証人・保証人の実印を押印  
 ※機関保証選択者は本人印のみ  
 ③正しい金額を直近余白に記入

変更後の借入金額以外の訂正には訂正印の押印は不要。

希望する増額始期※	西暦 20 26 年 1 1 月 から
従前の奨学金月額	3 0 0 0 0 0 円
希望する奨学金月額 ※5	7 0 0 0 0 0 円

変更する理由

【人的保証選択者のみ】  
連帯保証人・保証人それぞれが添付する印鑑登録証明書のとおり自署し、実印を押印。

印影の一部が欠けてしまったので、訂正のため二重線で抹消し、枠内に押印直す。

正しい欄に記入。  
(逆に記入した場合は新しい用紙に書き直してください。)

連帯保証人・保証人欄の記入を訂正する場合は、二重線で抹消し、実印を線上に押印。

住所	〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3
電話番号	〇〇〇-△△△-××××
生年月日	昭和40年 12月 1日
住所	東京都江東区海2-×-×
氏名	機構 一郎

**【増額反映月が増額始期の次月以降になる場合の振込例】**  
 (本例では1月振込反映の申請期限までに不備が無い状態で機構に届いた場合を想定しています。)

希望する増額始期を提出日の属する11月としているところ、実際には11月分の振込は既に完了しており、12月分も従来どおりの40,000円が振り込まれる。

11月24日提出	11月始期を希望				
希望	10月	11月	12月	1月	2月
	4万円	7万円	7万円	7万円	7万円
↓		↓ 差額 3万円	↓ 差額 3万円		計6万円
実際	4万円	4万円	4万円	13万円	7万円

11月から7万円としたいが11月は既に振込が完了

1月反映の提出期限に提出されたため、12月も振込4万円

1月に希望の額+差額の振込2月から希望額での振込

1月振込分にて希望の70,000円および従来との差額30,000円×2か月分の計130,000円が振り込まれ、2月以降は希望の70,000円の振込となる。

ご記入の誤り(奨学金管理に必要)

## ■願出全体にかかる注意事項

		□チェック	【よくある不備】
記入	○黒又は青のボールペンで記入していますか。	□	×消せるボールペンや、時間の経過により字が消えるボールペンで記入している
訂正方法	○誤記入を訂正する場合は以下のとおり訂正していますか。(訂正印は不要) ①訂正箇所全体に二重線を引く。 ②訂正箇所の直近余白にはっきりと読み取れるように書き直す。 ※ただし、以下の箇所の訂正は除きます。 ・「変更後の借入金欄」欄(※3参照) ・「保証制度」欄(人的保証のみ)(※7参照)	(該当者のみ) □	×修正液や修正テープで訂正している ×塗りつぶし、なぞり書きで訂正している

## ■奨学生本人の情報

		□チェック	【よくある不備】
※1 提出日	○学校に願出を提出する日を記入していますか。 返還誓約書を学校が機構指定送付先へ発送した日以降でないと「月額変更願」の提出はできません。	□	×返還誓約書提出前の日付を記入している
※2 本人署名	○奨学生本人が願出に直接署名していますか。	□	×印字されている ×願出コピーやPDFを提出 ×連帯保証人および保証人と同一筆跡
本人署名横の押印	○奨学生本人の印で鮮明に押印していますか。 ※「変更後の借入金欄」欄を訂正する場合のみ必要です。	(該当者のみ) □	×シヤチハタを押印 ×連帯保証人または保証人と同一印 ×二重印、欠け印等による不鮮明

## ■変更後の借入金額

		□チェック	【よくある不備】
変更後の借入金額	○別紙「変更後の借入金額」の確認方法を確認しながら記入しましたか。 当該書類が手元ない場合は学校に申し出てください。 ※本願出による月額増額に加え、貸与期間も延長となる場合は、貸与期間延長後の金額を記入してください。	□	×希望する奨学金月額を記入 ×既貸与金額を借入金額に含めていない
※3 ※変更後の借入金額欄の訂正方法	○別紙【参考】「変更・訂正後の借入金額(予定)」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について、のとおり修正していますか。 当該書類が手元ない場合は学校に申し出てください。	(該当者のみ) □	×金額全体に二重線がない(一部のみ訂正) ×二重線上に押印がない ×本人署名横の印と異なる印が押印されている ×印が不鮮明  【人的保証のみ】 ×本人署名横印、連帯保証人および保証人のそれぞれの実印が重なって押印されている ×印鑑登録証明書と異なる印が押印されている

## ■月額変更

		□チェック	【よくある不備】
※4 増額始期	○提出日の属する月以降を記入していますか。	□	×提出日より前の月を記入している
※5 希望する奨学金月額	○選択可能月額の中から記入していますか。 選択可能な月額が不明の場合は、「第二種奨学金の貸与月額」を確認してください。	□	×「10,000円」と記入

## ■保証制度

		□チェック	【よくある不備】
※6 人的保証	○連帯保証人・保証人の自署・実印の押印がありますか。 ※機構届出の連帯保証人・保証人を変更する場合及び氏名変更が生じた場合は「連帯保証人・保証人等変更届」を併せて提出してください。なおそれぞれの願(届)出に印鑑登録証明書の添付が必要です。	(人的保証のみ) □	×連帯保証人・保証人を逆に記入している  ×連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書記載の住所と異なる住所(氏名・生年月日)が願出用紙に記入されている  ×連帯保証人・保証人欄の訂正に印なし →それぞれ訂正する欄の実印を二重線上に押印
	○連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書が添付されていますか。 「月額変更願」と印鑑登録証明書はホチキス留めしてください。	(人的保証のみ) □	
※連帯保証人・保証人記入欄の訂正方法	○別紙【参考】「変更・訂正後の借入金額(予定)」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について、のとおり修正をしていますか。 当該書類が手元ない場合は学校に申し出てください。	(該当者のみ) □	×二重線上に押印がない ×連帯保証人欄を連帯保証人実印(保証人欄を保証人実印)で訂正していない ×印鑑登録証明書と異なる印で訂正されている

## ■親権者又は未成年後見人(本人が未成年者の場合のみ記入)

		□チェック	【よくある不備】
※7 親権者又は未成年後見人	○提出日時点で未成年者の場合は親権者(未成年後見人)の署名がありますか。 両親がいる場合は必ず両名の署名が必要です。	(未成年のみ) □	×両親がいるにもかかわらず父(母)のみしか記入がない

記入が必要な事項に漏れ等があった場合は、振込みが遅れる場合があります。

提出前に再確認を行いましょう。

# 「変更後の借用金額」の確認方法

- ①現在の「貸与総額(予定)」を確認する。
- ②月額変更願で増額となる分の借用金額を計算する。
- ③①と②の合計金額を「変更後の借用金額」欄に記入する。

スカラPSにログインすると、「詳細情報」タブの画面から、あなたの奨学生番号ごとの詳細情報が確認できます。  
(URL: [https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/top\\_open.do](https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/top_open.do))



例: 2026年9月を始期として貸与月額を30,000円から50,000円に増額希望。

**スカラネットPS** 奨学金貸与・給付・返還情報提供サービス

全体概要 **詳細情報** 各種手続 奨学金継続願提出 個人情報

本画面に表示されている情報は、2026年9月11日現在のものです。

**奨学生番号ごとの詳細情報**

奨学生番号ボタンを押すと、各番号ごとの詳細情報を表示します。

6**0*****	奨学金情報	
8**0*****	奨学生番号	8**0*****
	状態	貸与 → 「貸与」と表示されている場合のみ計算が可能です。
	学校名	学生支援大学
	貸与期間	2026年04月～2030年3月
	貸与月額(自宅)	30,000円
	貸与済額(第一種奨学金)	180,000円
	貸与総額(予定)	1,440,000円 ①

(注) 同一奨学生番号で入学時特別増額の貸与を受けている場合は、貸与増額(予定)には入学時特別増額が含まれています。

**②月額変更願を提出することで増額となる借用金額(予定)**

→ **A : 月額変更を希望する月から貸与終了月までの月数 × B : 月額の差額** で計算

A : 2026年9月～2030年03月 の 43か月

B : 「希望する奨学金月額」から「従前の奨学金月額」を差し引いた金額  
50,000 - 30,000 = 20,000円

A : 43か月 × B : 20,000円 = 860,000円 ②

<b>変更後の借用金額</b>	
①現在の「貸与総額(予定)」	1,440,000円
②増額となる借用金額	860,000円
③変更後の借用金額(①+②)	2,300,000円

③を「月額変更願」の「変更後の借用金額」欄に記入

変更後の借用金額 (予定・総額)	2	3	0	0	0	0	0
---------------------	---	---	---	---	---	---	---

## 【参考】「変更・訂正後の借用金額(予定)」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について

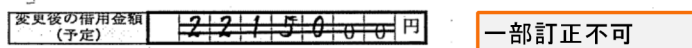
願(届)出用紙の訂正は、なぞり書きや修正テープ等での訂正はできません。  
署名訂正や押印についても、下記を確認し、適切に訂正してください。

### ■『変更・訂正後の借用金額(予定)』欄の訂正方法について

- ①本人署名横に本人印を押印する
- ②借用金額全体を二重線で削除する
- ③訂正した二重線上に訂正印を押印する(訂正箇所ごとに各押印が必要)
  - ・人的保証の場合：本人印(本人氏名横同一印)・連帯保証人と保証人の実印
  - ・機関保証の場合：本人印(本人氏名横同一印)
- ④正しい金額(ゼロも含めた全ての桁)を上部余白に記入する

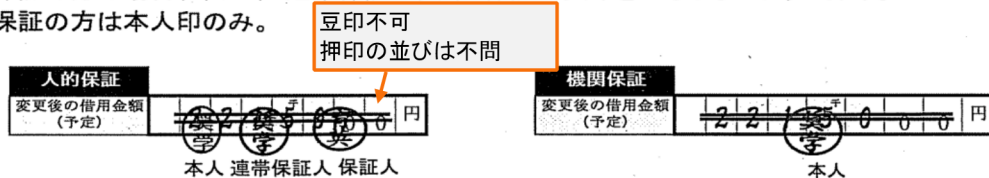
#### 【訂正方法】変更後の借用金額(予定)を誤った場合について

- ①誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)

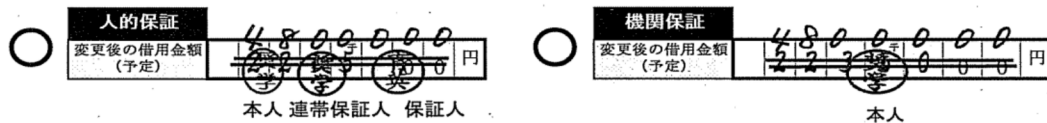


- ②二重線の上に、訂正印を押印してください。

人的保証の方の場合、本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。  
機関保証の方は本人印のみ。



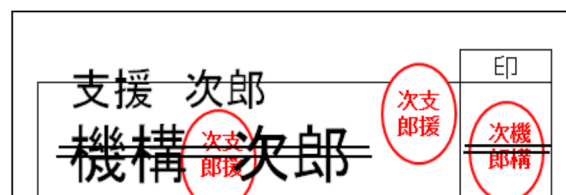
- ③正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。



### ■『連帯保証人・保証人』欄の訂正方法について

〈例〉署名を訂正する場合

- ①氏名全体に二重線を引く
- ②署名を訂正する者の実印を、  
二重線上に他の印と重ならないよう押印
- ③欄内余白に、文字が重ならないよう正しく署名する



※欄内の住所、電話番号、生年月日についても同様の方法で訂正が必要です。

※奨学生本人の自署欄は訂正印不要です。

### ■正しい『押印』の例

重印・二重印・欠け印・にじみ印とならないよう、朱肉を用いて鮮明に押印してください。

鮮明 ○	薄い ×	重ね印 ×	二重印 ×	欠け印 ×	滲み印 ×

本人印は、朱肉を用いて押印※豆印不可

連帯保証人や保証人は、実印での押印のみ  
※印鑑登録証明書に押印されている印